

■ 前回の例会記録

第3418回 2024年 2月27日(火)

【ゲスト卓話】

劇作家・演出家・宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター
立山 ひろみ 様
『みちがない道
～「演出家という名もなき仕事」について～』

出席状況報告

会員数(名誉会員2名を除く)	102名
例会出席会員数	71名
同上出席率	69.61%

■ 今回の例会予定

第3419回 2024年 3月5日(火)

【職業奉仕賞贈呈式】

100%出席例会

■ 次回の例会予定

第3420回 2024年 3月12日(火)

【ゲスト卓話】

元宝塚歌劇団(現保育士・音楽療法士)
舞咲 りん様
「人生万事塞翁が馬」

■ 幹事報告

- 配布物
・週報no 31
- 告知
・職業奉仕賞贈呈式について

■ ビジター会員



延岡ロータリークラブ
会長
森 龍彦 会員



延岡ロータリークラブ
幹事
梶井 崇之 会員



Happy Box

株式会社テヅカ
会長 手塚 剛一 会員(欠席)
社長 手塚 奈津子 会員

さる2月18日に宮崎日日新聞社様の宮崎100年企業のページに写真入りで掲載していただきました。取材経験豊富な記者さまに丁寧にインタビューしていただき、多くの社員の入った集合写真まで撮って頂きました。おかげさまで、創業103年株式会社テヅカ創立40年の節目に、私にも社員たちにとっても良い記念となり、また、仕事に打ち込むという気持ちを奮い起こすきっかけになりました。本当にありがたく思いました。

また、16日イオンモール宮崎、23日にイオンモール香椎浜の店が無事リニューアルオープンできたこともあり、Happyさせていただけます。どうぞ皆さま今後ともよろしくお願いいたします。



Happy Box

河野 二郎 会員

25日開催の第3回会長杯ゴルフコンペで優勝させて頂きました。

当日はあいにくの雨天でしたが、メンバーにも恵まれ、楽しい一日となりました。

次回も頑張ります!!

■ 会長の時間



会長挨拶

岡本 俊則 会長

皆様こんにちは今日もまた、先週からの続きのお話をさせて頂こうと思いますが、更にとりとも無い話です。まずは先週お話をした、私のJAZZ傾倒のきっかけとなったコーヒーの先輩の話ですが、憧れの先輩と話しましたが、当時の私にはその人の生き様が凄くカッコ良く映っていました。今思うと、はたしてそれはどうだったんだろうと思うこともあります。と言うのは実は私、息子(次男)にこの人から名前を頂き命名してしまいました。勿論当時は私もそのことが凄く誇らしく、周りの人たちにも良くこの話をしていたような気がします。この人はどんな人かと言うと、お父さんは大学教授、お兄さんは医者という、名家に育ちながら、本人は、はちゃめちゃんな生き方をされていて24歳の時には未だ大学三回生でした。スタイルは抜群、顔は普通、JAZZとコーヒーをこよなく愛しリーバイス501がとても似合う、とにかく何をやってもカッコいい、大人で物知りで、年下の我々にはすさまじく特別な存在に映りました。

そんな先輩に心から憧れていたし慕っていました。しかし今思うとこの先輩は色んなことに恵まれていたのだろうと思うし、それに甘えた生活をしていたのだろうなと思ったりしています。果たして自分の息子への命名に値する人であったかどうか?少々疑問に思いますが、その人のことが本当に好きでしたし、心底憧れていたことも確かです。先日ロータリーの文献を読みながら“今を疑え”とのくだりからそんなことをぼんやり考えていました。

あともう一つの話も先週はしようと思いつながら行きつかなかった話です。

私が初めて手にしたエレキギターYAMAHA SF1000の話です。先週少し詳しくこのギターの話させて頂きましたが、私は現在20本以上のギターを所有しています。ギターを手にこれまでに沢山のステージにも立ちましたがその九割以上はこのギターと一緒にでした。残念ながら今ではメンテナンスを行わな

いとステージでは使えない状態です。(フレットの打ち換え等を行えば使えるが...)でもどうしてもオリジナルに手を加えたくない気持ちが強くてメンテナンスを拒否(自分が)し続けています。こいつは間違いなく私が青春を共にした大切なパートナーです。私は家内に自分が死んだら棺桶にこいつを一緒に入れてくれと頼んでありますので、もし私が皆様より先に逝ってしまってお別れにおいでいただけるようであればこいつと一緒に居るかどうか確認をしてみてください。よろしくお願いたします。

学生時代の記憶は実に膨大で文字に綴り始めると次から次へと思いが噴き出てきます。

この場ではバンドとギターの話に特化しようと思いつながらも他の色々なことをドンドン思い出します。

脱線ついでにこんなエピソードも聞いてください。バンドとバイトと部活で学業を疎かにしている真っ只中、急に母親来訪の連絡がありました。当たり前だけど特に何も素のままを迎えました。アパートに到着した母はいきなり烈火の如く怒りを爆発させましたが、即座には何のことだかわかりませんでした。「母はしきりにあんた!なんねこの瓶は?」と叫び怒っていました!その時の私のアパートの玄関や廊下、ベランダ、あらゆる場所には置ききれだけのビール瓶を蓄えていました。母はこれを見て学生の方でビールばかり飲んでいると思激怒していたのです。同じ年代の方はお分かり頂けるかと思いますが、当時はビール瓶一本5円で酒屋さんが買い取ってくれていました。そして当時はまだまだビールと言えば瓶ビールだったので町のそこら中にビール瓶は転がっていましたので、私にとって町で転がっている瓶の回収は必須項目で、常に怠らず務め、ギターの弦を買うお金などにあてがっていました。拾ってきて公園で水洗いして乾かし酒屋に収める。この行動は、今の世の中ならSD'sの観点から見ても大切なことだし、道路の安全確保、街の環境美化にも配慮した、将来のロータリアンにふさわしい立派な行為だったと思っております。決して母親が嘆き悲しみ激怒するような行為でないことを理解してもらいたい今更ながら思います。

今日のお話はこれで終わります。続きはまた次回にさせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。



■ ゲスト卓話



『みちがない道
～「演出家という名もなき仕事」について～』

劇作家・演出家・宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター

立山 ひろみ 様

舞台の演出をしております立山ひろみです。劇作家・演出家・宮崎県立芸術劇場の演劇ディレクターもつとめております。

まずはお話しの内容を変更してすみません。

普段は、お芝居、音楽劇、オペラ、人形劇、合唱劇など、様々な舞台の演出をさせて頂いています。人形劇団デフ・パペットシアター・ひとみでの作品づくりについてお話する予定でしたが、そもそも「演劇」とか「演出家」というものが、全く知られていない、という事をお聞きして、ではより手前のお話を聴いて頂いて、少しでも舞台芸術や、劇場文化に親しみをを持って頂けたらと思いました。

なので今日は「演出家」として何をする仕事かよく訊かれますので、もうそれはほぼ、存在しないに等しい職業の名前では？という思いから本日のタイトルにさせて頂きました。

・「演出家」という仕事知っていらっしゃいますでしょうか？

→日本で言うと、やはり「世界のニナガワ」ですね。

そのくらい知られていなくて、実際、ほとんどの演出家が食べられません。これは役者と同じくらい食べられない。私は一応宮崎県立芸術劇場の演劇ディレクターと呼ばれる少し前によく、演劇だけで食べられるようになったくらいでした。

デビューが25歳で35歳くらいには就任してるのでおよそ10年くらいは、バイトもしてた事になりますね。

では

・どうしてそんな演劇に進むことになったのか？

私は、宮崎県佐土原町出身で、両親がアート・アマネという絵画、陶器とか陶板を造ったり、公園にモニュメントを造ったりという仕事をしてる特殊な環境で育ちまして。

親が美術館とか、コンサートとか、演劇とか観に行かせてくれるような家ではありませんでした。

たまたまNHKで宝塚、天海祐希さんがレッドバトラーを演じられた『風と共に去りぬ』をテレビで観てかっこいいなと、衝撃を受けまして、母がすぐに東京公演のチケットを手配してくれ、中三の夏休みに宝塚歌劇団の公演を観ることが出来ました。そこからは宝塚に限らず、宮崎でも劇場に通って独学で勉強を始めました。

高校で、演劇部がなかったので、余計に自分で本を読んだり雑誌で情報を得たり、東京に情報が集まるから東京で実績をつけて、宮崎に仕事で呼んで貰おう！とか、自分は面白いと思ってるのに、周りの人たちが全く劇場に行くという発想がないから、公共劇場のプログラムを立てる仕事について、いろんな人に劇場に足を運んで貰おうとか、そういう今に繋がる意識が高校生の頃に芽生えていました。

→日本には道がない。結果どうしたか？

→ほぼ運と縁しかない、というところですが、東京行くしかないとなった時に東京学芸大学に年に一人しか受からないけど、芸術学演劇専修がある、という事が分かり、運良くそちらにご縁があって、そこから道がひらけたという感じでした。

大学三年生の時に、現役で活躍されている演出家の方が教授で来て下さり、その時宮崎の高千穂神楽と椎葉神楽を研究して、演出したギリシャ悲劇の『オイディプス王』を、当時の美術科の仲間を総動員し造った作品だったのですが、それが教授の目に留まって「君は演出家になった方がいい！」と強く言って頂いたのが大きかったです。

大変だけれど演出家として、いろんな人の才能を掛け合わせたり、引き出したりする事にとても喜びを感じました。今も個人の可能性は、有限だけれど、役者さんや、スタッフお一人お一人の才能を掛け合わせていったら、可能性は無限大、という信念で、現場を飛び回っております。

・宮崎県立芸術劇場で意識的に取り組んできたこと



→ここまでお話をさせて頂いた事が、自分を作る要素の一つ一つだったので、

「より開かれた劇場」を目指し、普段劇場に足を運ばないような方々にも、劇場に来て頂けるような仕組みを考えました。

お子さんが小さくて来れなくなるのは残念なので0歳から観られるパフォーマンスを造って上演したり、子どもと大人と一緒に観て楽しめるシリーズを大切にしたり、大型の公演として、皆さんが知っていらっしゃるような役者さんが出演されるような作品を招聘したり、講座で細かく回路を作って、いろんな角度から劇場に足を運んで頂く、存在を知って頂く、という事に取り組んで参りました。

残念ながら現在は、天井改修で一時休館させて

頂いてるのですが、その間宮崎県内のいろんな場所や会館と協力して、作品の発表や地域とのコミュニケーションをはかっております。

最後に、その一環であります、先月国富町で行った作品が来月には、都農町と、五ヶ瀬で上演を予定しております。

また、都城MJホールでは、都城に残る伝統芸能を研究し、新しい祭りをみんなで作ろうという取り組みが3/24にごございますので、お時間のある方はぜひ、足を運んで頂けたら幸いです。

本日は拝聴頂きありがとうございました。

今後とも、ぜひ、宮崎や宮崎以外でも劇場に足を運んで頂けたら嬉しいです。

1 『みちがない道
～「演出家という名もなき仕事」について～』

- ・「演出家」という仕事知っていますか？
- ・どうして演劇に進むことになったのか？
- ・日本には道がない。結果どうしたか？
- ・宮崎県立芸術劇場で意識的に取り組んできたこと
- ・最後に『紅い花』お知らせ

4 “デッサン” 二人が出逢うというシーン。どのくらいの方で、暮れか朝かかのデッサン。

7 楽士さんたち

2 立山 展平
art amane & Shuho Tateyama Works

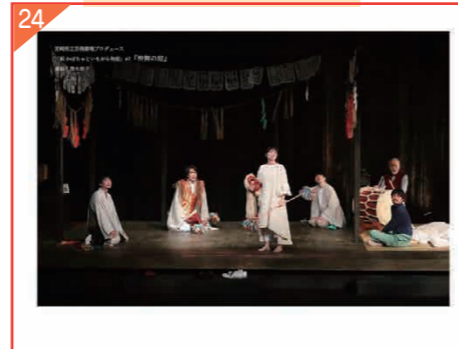
5 後ろにあるのが、稽古日程表。コレに細かく稽古運行書いていく。

8 舞台稽古写真より。劇場に入ってから調整。

3 観客の様子。カンパニーによるこの劇団は結果、右側に座っているのが、スタッフ陣。

6 稽古が進んで、音楽が入る一回目の稽古は、楽譜に尻って、タイミングなどを楽士さんと確認する。

9 舞台稽古写真より。プロローグ。



25 宮崎県立芸術劇場 メディキット県民文化センター 自主事業

ちあきなおみ 紅花

3/10 (日) 2024 3/17 (日)

演劇・ダンス 劇場主催

『紅い花 ～松の木天辺、ちあきなおみを歌う～』都農公演
2024年03月10日 (日)
都農町みなと児童館 (住所: 宮崎県児湯郡都農町川北3741)

『紅い花 ～松の木天辺、ちあきなおみを歌う～』五ヶ瀬公演
2024年03月17日 (日)
五ヶ瀬町民センター 大ホール (住所: 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町三ヶ所10693-1)

詳しく見る

■ 第3回 会長杯ゴルフコンペ 2/25 (日) 会場フェニックスカントリークラブ



Rotary 第2730地区 宮崎ロータリークラブ

- 本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標
- ①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
 - ②池ノ上克ガバナーの活動支援
 - ③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
 - ④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
 - ⑤例会出席率90%以上の確保
 - ⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
 - ⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

<会長> 岡本 俊則
<副会長> 藺田 潤子
<幹事> 藺田 有美
<会報委員会> 福松 修一郎

例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)

